

競技に関する注意事項

混成競技西三河予選会・記録会

1 感染拡大防止対策

1. 競技場、スタンド、芝スタンドへの入場は、下記の表とする。

	選手	競技役員	顧問・チーム代表	保護者
競技場内	○	○	×	×
スタンド	○	○	○	×
芝スタンド	×	○	○	○

※顧問・チーム代表者（1団体1名）は学校受付時にリストバンドをもらい、スタンド入場時に提示すること。また、公認審判員証を提示しても入場することができる。

※選手、顧問・チーム代表は正面スタンド入口から、保護者は100mスタート側およびゴール側ゲートからのみの入場とする。（別紙動線参照）

2. 競技場への入退場は、すべて別紙の動線に従うこと。
3. 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座ること。
4. 手洗いをを行い、消毒を実施し、感染予防に努める。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに団体受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない。場所は招集所と同様とする。)
3. 招集所、招集時間について
- (1)招集所は、自転車置き場付近で行う。
- (2)招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
種目、組により招集開始時刻・招集完了時刻が異なるため、必ず確認をすること。
- (3)招集が完了した後、スタート10分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
- (4)リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。
- (5)四種競技の招集所での招集は、最初の種目時のみ行う。2、3番目の競技については、10分前までに競技場所に集合すること。なお、最終種目では、3種目目までの合計得点で番組編成された組・レーンを確認し、10分前までに招集所で腰ナンバーカードを受け取ってから、競技場所に集合する。番組編成は事務所入り口付近に掲示する。
4. 本競技場でのウォーミングアップについて
本競技場でのウォーミングアップは競技ならびに準備に支障のない範囲で行ってよい（終日バックストレートの使用可）。朝のウォーミングアップについて、9時15分まで行ってよい。その際、ホームストレート7、8レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
また、リレー種目については、タイムテーブル記載の時間で競技場での練習を認める。
5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはし

ない。

6. 写真及びビデオ撮影について

- (1)個人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
- (2)下記のエリアを撮影禁止とする。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・跳躍種目の助走後方と着地前方
- (3)スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (4)他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

7. LIVE 配信について

今大会は YouTube によるライブ配信を行わない。(要項より変更)

3 競技に関して

1. アスリートビブス (ナンバーカード) について

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2)トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3)腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

2. 競技について

- (1)トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2)競技者の変更は一切認めない。
- (3)使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールについては、各団体が準備したものを使用する。
- (4)全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)
- (5)WA 規則第143条 (TR5.2:競技用靴) のルールを適用する

種目	ソールの最大の厚さ	補足
800m 未満のトラック種目	20mm	
800m 以上のトラック種目	25mm	
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	競技者の前の部分の中心点のソールの厚さは、競技者のかかとの中心点のソールの厚さを越えてはならない。
三段跳	25mm	

規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。

招集所にて、靴の確認を行う場合がある。

- (6) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
- (7) フィールド競技については以下の通り行う。
 - ①長さを競う種目の試技は3回の試技とする。

②走幅跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー 2 個までとする。

③走高跳は、男子は 2 ピット、女子は 1 ピットを使用して行う。

④本大会では、コーチングエリアを設定しない。

(8)記録の掲示は事務所入り口付近で行う。または、記録速報ページで記録を確認すること。ただし、記録速報ページについて、競技会終了後 1 週間をめどに削除する。上位者のアナウンス発表は行う。

(9)競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第 1 4 4 条で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(10)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（天候等の状況により変更することがある）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子四種走高跳	1m25	1m30	140 cm までは 5 cm 以後は 3 cm						
女子四種走高跳	1m15	1m20	140 cm までは 5 cm 以後は 3 cm						
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以降 3cm
女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降 2cm	
男子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	2m60	以降 10cm			
女子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	以降 10cm				

※男女棒高跳の練習の高さは定めず、選手の希望によって行う。

4. 表彰について

(1)四種競技の 1～3 位には賞状を授与する。

(2)本部前にて簡単な表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

5. 県大会への出場について

四種競技で、本大会 4 位（4 名）までの入賞者、及び県大会標準記録突破者は愛知県中学校選抜混成競技会・通信陸上競技愛知県大会に出場することができる。愛知陸協要項参照。愛知県中学校総合体育大会の出場については、愛知県中小学校体育連盟要項参照。各校で申し込みを行う。

4 その他

1. スタンドへの出入り口はスタンドに 1 か所設置する。開門時刻は 7 時 3 0 分とする。

2. 各団体の控え席や待機場所は、スタンド以外の競技場内に設置できない。

3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。

4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。

なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。

5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。

6. 更衣室は女子のみ使用を許可する。その際、更衣のみに使用し、シャワーの使用は禁止する。

また荷物は置かないようにし、更衣後の荷物は各自で管理する。